

JPEC World Report

中国 2026 年 7 月版

ハイライト

◇5月の市況概況 ※6月の統計データは7月末に更新されるため、次号にて掲載予定

- 原油は、生産量約 1,800 万トン(横ばい)、輸入量は 3,300 万トン(前月比 500 万トン減)。輸入量が 2 カ月連続で大幅に減少。
- 石油精製品(ディーゼル燃料・ガソリン・ケロシン・燃料油)は、ディーゼル燃料の生産量が前月比 200 万トン近く減少。
- 製油所稼働率は、国営石油会社が 70%(前月比で +0.9 ポイントと微増)であるのに対して、地方製油所は 52%(前月比 6 ポイント近く下落)。

◇6月の主な業界動向

- グリーン化(環境対応)の進展：非化石燃料由来の電力消費を計算するためのガイドライン導入やグリーン水素・アンモニアの一体型生産、AI を搭載した太陽光・蓄電システム、バイオ天然ガスや SAF（持続可能な航空燃料）の普及・輸出拡大等、脱炭素化が加速している。さらに、水素燃料コールドチェーンの開通や新エネ大型トラックの普及案、化学工場の省エネ化等輸送・生産の GX も進む。

一方、欧州では中国の油田プロジェクトを偽った 100 億元超のカーボンドレジット詐欺が発覚し、取引制度の透明性確保が課題となっている。



○第三国市場問題：英国では日産工場で偽造のカーボンドレジットが発覚し、ポーランドでは金銭対価のプラスティック工場の建設が計画されている。また、中国では、水素燃料コールドチェーンの開通や新エネ大型トラックの普及案、化学工場の省エネ化等輸送・生産の GX も進む。

この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。

お申し込み後、続きをご覧くださいための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申し込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >